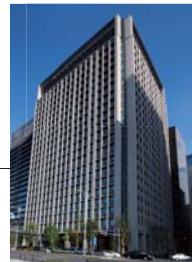


RICOH  
Visual Communication  
お客様導入事例

IT化による生産性向上を追求して、多くの会議室に  
リコー インタラクティブホワイトボード(IWB)をご導入。  
社員の意識を変え、新しいワークスタイルを実現。



## JXホールディングス株式会社様



■ご導入機種：リコー インタラクティブホワイトボード153台(2016年10月現在)

■ご導入拠点：本社(127台)および国内支社(26台)

Company Profile

■業種：石油・石炭製品業(従業員：本社 約2,500人) ■URL：<http://www.hd.jx-group.co.jp>

■主な業務内容：エネルギー事業、石油・天然ガス開発事業、金属事業を行う子会社およびグループ会社の経営管理ならびにこれに付帯する業務

本来の業務に集中できる環境づくりに必要なもの、  
それが会議の進行を最大限効率化でき、  
社員のコミュニケーションを  
円滑にするリコーのIWBでした。

JXホールディングス株式会社  
企画2部 ITグループ

藤野 寛昭 様



JXホールディングス株式会社様は、産業の基盤を成す石油、天然ガス、非鉄金属などの資源について、その開発から生産、販売まで一貫して取り組む大手企業です。近年、積極的にワースタイル変革を進める中、本社ビル移転を機にITを使って会議や打ち合わせを効率化。その一環として、リコーインタラクティブホワイトボードを本社および支社に合計153台ご導入。ペーパーレス化による効率的な会議進行と共に、生産性の高い会議を実現されました。さらに、フリーアドレス\*やコラボレーションルームにもIWBを設置し、社員間のコミュニケーションを円滑化。社員全員が変革意識を持って、新しいワークスタイルに取り組まれています。

### 導入前の課題

配布資料の印刷、クリップ留めなど、会議の準備に時間と手間、コストがかかっていた。

会議が始まって、皆が手元の資料に集中してしまい、議論のポイントを共有しづらかった。

会議後、議事録として通常のホワイトボードの記載内容を撮影してパソコンに取り込むなど手間がかかっていた。

多種多様な紙の資料が各自のデスクで散乱してしまい、必要な時に情報共有ができなかった。

### 導入後の効果

❗ 事前に資料を印刷・配布する手間がなくなり、時間とコストを大幅に削減。

❗ 皆の視線がIWBに集中し、共通理解が得やすくなった。さらに、随時書き込みながら全員参加型の活気ある会議を実現。

❗ 会議内容をPDF化し、電子メールで送信して、会議後の内容共有が迅速かつ簡単。

❗ 印刷資料が減った分、整頓されたデスクで構想を練ったり、資料の作成に集中できる環境が整った。

\*社員が、自分のデスク以外にオープンスペースを自由に使えるオフィス形態。柔軟で効率的に業務を進めるワークスタイルを創出する。

IWBによるペーパーレス化を図りながら、紙に匹敵する書き込み機能によって、活気ある会議を実現できています。



## フリーアドレスへの設置をはじめ、IWBの活用がさらなる可能性を広げます。

従来は会議を行う際に、資料を事前に印刷して人数分をクリップ留めするなど、準備に手間がかかっていました。本社だけで約2500人が働いており、毎日多くの会議が行われますから、膨大な時間がそこに割かれていたわけです。IWBの導入によって時間の余裕が生まれ、構想を練ったり、資料作成といった本来の業務に集中できるようになりました。会議においても、皆でIWBの画面を見ながら議論のポイントが共有でき、理解度が大きく向上しました。マーケット情報などの細かな数字がたくさん並んだ資料も、IWBの精細な画面なら見やすく、膨大な資料をすばやくページ送りできる点も便利です。しかし何よりのメリットは、画面にダイレクトに書き込めること。刻々と変化する追加情報を自由に書き込んだり、



JX石油開発株式会社  
総務部  
本間 升 様

強調したりしながら、その場の意思疎通や意見交換がしやすく、デジタルでありながらアナログの利点を併せ持つ優れたツールだと思います。会議後もすぐに画面の内容を電子メールで送信でき、情報共有も迅速になりました。IWBを社員全員で使い倒すことで、生産性の高い会議、生産性の高い働き方を実現できていると感じています。また、新オフィスにはフリーアドレス、コラボレーションルームがあり、そこにもIWBを設置しています。立って打合せできる上下昇降式テーブルとIWBを組み合わせたコーナーでは、数名でパッと集まって確認ごとやブレインストーミングをしたり、コラボレーションルームの一画では、普段は事業環境や各拠点の掘削状況、生産量をスライドショーで流して社員に周知しています。導入後のアンケートでは9割におよぶ社員が「効果あり」と回答したIWB。今後は、国内外の拠点など遠隔地とのコミュニケーションを効率化していく上でも活用していきたいと考えています。



JXエネルギー株式会社  
需給部 部長  
椎名 秀樹 様

IWB導入  
5大活用  
ポイント



- ① 電源を入れてすぐ画面を映し出せるので、会議が速やかに進行できる。
- ② タッチペンは書きやすく、強調したいことなどを思いのままに追記できる。
- ③ ペーパーレスの会議を可能にすると共に、書き込み機能によって、アイデア出しやブレインストーミングにも活用できる。
- ④ 会議内容をPDFにして、議事録やメモをその場で簡単に共有できる。
- ⑤ 新しいオフィスにマッチしたスマートなデザイン。

▶ JXホールディングス株式会社様のソリューション事例を、さらに詳しく、Webで。  
[http://www.ricoh.co.jp/case/1702\\_jx-group/](http://www.ricoh.co.jp/case/1702_jx-group/)

※Adobe PDFは、Adobe Systems Incorporated (アドビ システムズ社)の米国ならびに他の国における商標または登録商標です。  
※記載の会社名および製品名は、それぞれ各社の商号、商標または登録商標です。



RICOH Interactive Whiteboard (電子黒板)

[ricoh.co.jp/iwb/](http://ricoh.co.jp/iwb/)

**RICOH**  
imagine. change.

リコージャパン株式会社

お問い合わせ・ご用命は

<http://www.ricoh.co.jp>